

鹿保協発19-32号
2020年3月27日

鹿児島県知事
三反園訓 殿

鹿児島県保険医協会
会長 高岡茂

新型コロナウイルス感染者増加に伴うマスク確保に関する緊急要望書

新型コロナウイルス感染者の急速な拡大について、世界保健機関（WHO）は昨日のG20首脳会議で、「このパンデミックは加速度的に広がっている。これは国際的な対応を要する、地球規模の危機だ」と述べ、各国で医療態勢を強化する必要性を強調しています。

一方、東京都では感染者が急増し、今週末は不要不急の移動の自粛要請が呼び掛けられる中、鹿児島県でも昨日、県内初となる新型コロナウイルス感染者が確認されたと県が発表しました。

県内においても、感染拡大の懸念が一層強まり、同時に医療機関への深刻な影響も懸念される中、感染対策に必要なマスクや消毒用エタノールの供給が不十分な状況が未だに解消されない状況があります。

「医療機関向けマスクの医療機関等への配布について」（令和2年3月13日厚労省医政局事務連絡）によれば、政府が保有するマスク250万枚を3月16日には各都道府県へ配布し、3月18日までに医療機関等へ配布するとしていますが、医療従事者は全国に約280万人おり、これでは1人1枚にも満たないこととなります。実際、いまだに現場の医療機関から「届いていない」、「供給量が少ない」などの声が上がっております。

このままの状態が続けば、今後十分な医療体制を確保できず休診を迫られる医療機関が出て、地域医療崩壊につながる事態にもなりかねず、大変危惧されるところです。特に、歯科治療は患者さんにマスクを外してもらい、口腔内をエアータンで切削するという、飛沫感染のリスクが高い特殊な環境下にあります。

つきましては、以下の点を緊急要望します。

記

- 3月16日までに県へ届いた政府保有のマスクを、早急に各医療機関等へ配布して頂きたい。併せて、自治体等の備蓄マスク等も配布して下さい。
- 医療機関用マスクや衛生材料等の安定供給に向け、関係業界団体への要請を行って下さい。

以上